

平成24年1月28日

リトルリーグ神奈川連盟
所属リトルリーグ野球協会
会長 各位

特定非営利活動法人
リトルリーグ神奈川連盟
理事長 大嶋 進太郎

「大会規則」の改訂について

大会規則を以下のとおり改訂します。

なお、適用は平成24年1月28日以降に開催する連盟主催の大会とします。

現 行	改 訂
<p>第1章 総 則</p> <p>1. 大会規則の目的</p> <p>(3) この大会規則の定めがない事項については、公認野球規則に基づく。</p> <p>2. 基本的心構え</p> <p>(1) 監督、コーチ及び選手は、本大会規則及び公認野球規則を熟知・遵守の上、フェアプレイの精神をもって試合に臨み、かつ勝利を目指して最善を尽くさなければならない。(以下、省略)</p> <p>(3) 全関係者は、グラウンド内外の清掃、環境保全に努めなければならない。なお、グラウンド内及びベンチ内での喫煙と<u>携帯電話の使用</u>を禁止する。</p>	<p>第1章 総 則</p> <p>1. 大会規則の目的</p> <p>(3) この大会規則の定めがない事項については、リトルリーグ公認競技規則(含む、トーナメント規則)及び公認野球規則に基づく。</p> <p>2. 基本的心構え</p> <p>(1) 監督、コーチ及び選手は、本大会規則及びリトルリーグ公認競技規則(含む、トーナメント規則)並びに公認野球規則を熟知・遵守の上、フェアプレイの精神をもって試合に臨み、かつ勝利を目指して最善を尽くさなければならない。(以下、省略)</p> <p>(3) 全関係者は、グラウンド内外の清掃、環境保全に努めなければならない。なお、グラウンド内及びベンチ内での喫煙を禁止する。 ※現行(3)の「携帯電話の使用」の文言を削除し、新たに次の(4)の規則を追加する。</p> <p>(4) 携帯電話等、外部と連絡をすることができる機器類はベンチ内に持ち込んではいけません。</p>

現 行	改 訂
<p>第3章 競技場、服装、用具・装備</p> <p>2. 服装等</p> <p>(1) 登録選手は公認野球規則〔1. 1 1〕の定めに基づき、所属リーグ指定の統一ユニフォーム（帽子から靴まで同色、同形、同意匠）を着用しなければならない。(以下、省略)</p> <p>3. 用具・装備</p> <p>(2) 〈注〉非木製バットはBPF（バット性能指数）1. 1 5の表記があるものを使用する。</p> <p>第5章 試合</p> <p>1. 試合の開始と終了</p> <p>(2) 正式試合になる回数は6回とする。ただし、点差によるコールドゲームを採用し4回以降10点差とする。なお、トーナメント決勝戦及び決勝リーグ戦については適用しない。</p> <p>(5) リーグが試合開始前又は試合途中において次の各号に該当する場合は、スコア0対6で不戦敗とする。</p> <p>⑥リーグ派遣審判員が義務付けられているにもかかわらず、試合に参加しないとき又は集合時間に遅刻したとき。</p> <p>2. 禁止行為、マナー等</p> <p>(2) 走者又はベースコーチが、捕手のサインを盗み見て、打者に投球のコース又は球種を伝える行為を禁止する。これに違反した場合は当該チームの監督は退場させる。</p>	<p>第3章 競技場、服装、用具・装備</p> <p>2. 服装等</p> <p>(1) 登録選手はリトルリーグ公認競技規則〔1. 1 1〕の定めに基づき、所属リーグ指定の統一ユニフォーム（帽子から靴まで同色、同形、同意匠）を着用し、背番号をつけなければならない。(以下、省略)</p> <p>3. 用具・装備</p> <p>(2) 〈注〉非木製バットは1. 1 5以下のBPF（バット・パフォーマンス・ファクター）値が表示（印刷）されていない。</p> <p>第5章 試合</p> <p>1. 試合の開始と終了</p> <p>(2) 正式試合になる回数は6回とする。ただし、全試合点差によるコールドゲームを採用し4回10点差、5回7点差とする。なお、全日本選手権神奈川連盟大会の決勝リーグ戦についてのみ適用しない。</p> <p>(5) リーグが試合開始前又は試合途中において次の各号に該当する場合は、スコア0対6で不戦敗とする。</p> <p>⑥ <全文削除> 新たに次の(6)の規則を追加する。</p> <p>(6) リーグ審判員の派遣が義務付けられた大会においては、試合に不参加又は集合時間に遅刻したときは、交通渋滞等の特別な場合を除き、1回目は監督に厳重注意をし、2回目は理事会に諮りペナルティーを科すこともある。</p> <p>2. 禁止行為、マナー等</p> <p>(2) 走者又はベースコーチが、捕手のサインを盗み見て、打者に投球のコース又は球種を伝える行為を禁止する。もしこのような疑いがあるとき、審判員はタイムをかけ、当該者と攻撃側ベンチに注意を与え、止めさせる。同様の行為を再度審判が見つけた時は、当該チームの監督を退場させる。</p>

現 行	改 訂
<p>3. リトルリーグ特有の野球規則</p> <p>(2) 投手が投手板を踏んで捕手からのサインを見る姿勢をとったら、走者は投球がホームプレートを通過するか打者が打つまでは、塁を離れてはならない。</p> <p>(3) 進塁のためのヘッドスライディングを禁止する。ヘッドスライディングをした時点でアウトとなり、ボールデッドとなる。</p> <p>4. 投 手</p> <p>(4) 投手は同一試合において再登板することはできない。ただし、「全員出場の規則」が適用されている試合においては、攻撃中に「スペシャルピンチランナー」が出て交代したとき及び代打が出てその代打が守備に着かないときは、引き続き投手として再出場できるが、交代選手及び他の選手が投手になった場合は、当該試合には投手として再出場できない。(以下、省略)</p>	<p>3. リトルリーグ特有の野球規則</p> <p>(2) 投手が投手板を踏んで捕手からのサインを見る姿勢をとったら、走者は投球が打者に達するまでか、打者が打つまでは、塁を離れてはならない。《赤いハンカチルール》</p> <p>(3) 進塁方向へのヘッドスライディングを禁止する。ヘッドスライディングの行為があった時点でボールデッドとなり、その走者はアウトとする。</p> <p>4. 投 手</p> <p>(4) 一度降板した投手は投手として戻ることができない。ただし、「全員出場の規則」が適用されている試合においては、攻撃中に「スペシャルピンチランナー」が出て交代したとき、その「スペシャルピンチランナー」が守備に着かないときは、引き続き投手として再出場できる。また、全員出場条件を満たした投手が打者のとき、全員出場条件を満たした控えの選手が代打に出て、その代打者が守備に着かないとき、一度限り投手として再出場できる。(以下、省略)</p> <p>(10) 試合で4イニング以上捕手を務めた選手は、その日は投手を務めてはならない。 注) 4イニングとはアウト数「1 2」ではなく、守備についたイニング数である。《追加》</p>
<p>第6章 審判員</p> <p>(9) 審判員は、本大会規則及び公認野球規則を熟知の上、試合に臨まなければならない。</p>	<p>第6章 審判員</p> <p>(9) 審判員は、本大会規則及びリトルリーグ公認競技規則(含む、トーナメント規則)並びに公認野球規則を熟知の上、試合に臨まなければならない。</p> <p>付則 平成24年1月28日より改訂・適用する。</p>

- ◆ 「大会規則」の「付録」も改訂、制定します。平成24年1月28日以降に神奈川連盟ホームページに掲載する「大会規則」を確認ください。
- 赤いハンカチルール 《改訂》 ○ 全日本選手権大会及び全国選抜大会特別規則 《改訂》 ○ 神奈川連盟ティボール大会規則 《制定》